

会員企業紹介
わが社の
イチオシ

本場直送の讃岐うどん店



喜八郎 (有)マルイ

社長 **辻川 雅弘** 氏 (福岡安中支部所属)

Q & A

▼事業概要

当社はもともと、近江商人だった曾祖父が呉服・反物を扱う辻川商店を開業して移り住んだのが始まりで、以来地元を根をはり商売を続けてきています。

昭和三四年に(有)マルイへと法人化、平成四年には父が社長に、そして平成二九年に私が社長に就任しました。

衣料品販売のほか、平成三年からは第二の柱としてワーキング部門にも参入。また平成一七年には第三の柱としてシャディ



サラダ館にFC加盟。そして平成三〇年八月に第四の柱として讃岐うどん店「喜八郎」をオープンしました。

私自身は平成七年にマルイへ入社しました。いずれ戻るつもりではいりましたが、実はその年に店舗を火災で消失してしまい、再建のために急ぎよ東京から戻ってきました。

▼飲食業参入の経緯

本社と洋品店のある下仁田町は、人口減少・高齢化が急速に進み、なかなか安定した成長や利益を出すのが困難であると、長年感じていました。

暗中模索が続くなか、以前からやってみたいと思っていた飲食業を第四の柱にすることを決

意しました。

当時、四国にいる学生時代の友人のもとを何度か訪ねるなかで、「讃岐うどん」の美味しさ・素晴らしさに感銘を受けたのです。そしてあちこちを食べ歩いてみると「これは旨い!」と思う麺に出会い「この麺を使ってうどん店を開業するぞ」と心に決めました。そして製麺所を突きとめ何度も何度も足を運んでねばり強く交渉した結果、晴れて了解していただきました。

オープン後、しばらくは赤字続きでしたが、後半には多くのお客様にご来店いただき、終わってみれば一年目は黒字になりました。

しかし、スタッフがなかなか集められず、やっと集めたスタッフ間で揉め事があったり、人員不足でお客様を必要以上に待たせてしまったり、その人員不足を解消するために導入した券売機が不評で来なくなっ

まうお客様がいたり、日々悩みの連続でした。

▼コロナ打撃と今後の展望

そんな中で昨年からコロナウイルス感染拡大、そして緊急事態宣言。軌道に乗せるどころか奈落の底に突き落とされたような状況が続いています。

オープン当初は二店舗、三店舗と拡げていきたいと考えていましたが、今はそれどころではありません。

しかしながら、今後はコロナ禍を考慮した新しい業態も模索していきたいと構想中です。

「美味しい本場の讃岐うどんを皆さんに食べてもらいたい」という一心で今も営業していますので、福岡方面にお越しの際は、ぜひご来店ください!

同友会会員の皆様限定で、食後のコーヒーをサービスさせていただきます。



当店に限らず、飲食店は今、苦境に立たされています。ぜひお知り合いのお店に足を運び、応援してください。

所在地／福岡市富岡3053
連絡先／TEL0274-63-0506
URL／<http://kihairoh.gunmablog.net/>